

# 上田市教育委員会 7月定例会会議録

## 1 日 時

平成27年7月23日（木） 午後3時00分から午後4時16分まで

## 2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

## 3 出席者

### ○ 委 員

教 育 長	小林 一雄
教育長職務代理者	城下 敦子
委 員	山崎 順子
委 員	寺島 滋
委 員	北沢 秀雄

### ○ 説 明 員

西入教育次長、浪方教育参事、倉島教育総務課長、瀬間生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、柳沢真田地域教育事務所長、石井丸子地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、飯島第二学校給食センター所長、池田城南公民館長、樋口上野が丘公民館長、石井上田情報ライブラリー館長、山賀学校教育担当係長、若林学校教育担当係長、長田学校教育担当係長

## 1 あいさつ

## 2 〈協議事項〉

### (1) 平成26年度教育行政に係る事務の点検及び評価について（教育総務課）

#### ○ 資料1により倉島教育総務課長説明（要旨）

地方教育行政法により、教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を毎年行うことになっている。目標管理制度において設定した教育委員会の重点事業について、自己点検及び自己評価を行い、上田市教育行政評価懇話会において提言をいただいた。評価の方法は、年度末における目標の達成状況について、A目標を上回る成果があった、B目標どおりの成果があった、C目標未達成の部分があった、D全ての目標が未達成であった、の4段階による評価を行っている。

#### ○ 1 上田市教育支援プランの推進

##### ○ 1-①・②・④について長田学校教育担当係長説明（要旨）

①学力向上と不登校対策について総合評価はBである。委員から不登校対策は、総合的な政策をうまく組み合わせていく必要があり、この取組を正当に評価するためにも、タイトルに「不登校対策」を入れない方がよいのではないかという意見があった。それに対しては「学力向上」と「不登校対策」はそれぞれ重要な項目であり、項目別に掲載するなどの見直しを検討したい。

②児童生徒一人ひとりに応じた指導体制の充実について総合評価はBである。スクールソーシャルワーカーを市費で配置していることを評価する意見や、不登校に対する体制づくり、スクールカウンセラーと関わることによりクラスに戻れる支援、スタートカリキュラムなどについて意見をいただいた。今後もスクールソーシャルワーカーの資質向上や学校支援の取組等事業の充実を図りたい。

④地域に信頼され、地域に開かれた学校づくりについて総合評価はBである。課題としてボランティアの活動支援、人材発掘などが挙げられた。引き続き、ボランティア活動の充実や信州型コミュニティスクールの導入を推進していきたい。

##### ○ 1-③について倉島教育総務課長説明（要旨）

③学校給食に関する基本方針の検討について総合評価はCである。複雑な要因もあり、かなり難しい課題である。教育委員会事務局の基本方針案を原案とし、学校給食運営の基本的な考え方をまとめた。

#### ○ 質疑

##### 北沢委員

①学力向上と不登校対策について、総合評価はBである。現在5人という小中連携教員の配置であるが、今後拡大していく考えはあるか。また、予算の関係もあるかと思うが、今後どのような方向で考えているかお聞かせ願いたい。

##### 長田学校教育担当係長

小中連携事業として、現在5人の先生方を配置しているが、この取組はかなり成果が上がっていると認識している。小学生が中学校に上がる時の中1ギャップ等の解消にもつながるということから、当課としては、この人員については充実させていきたいと考えている。

予算的なこともあり実現できるかわからないが、先生を増やしたいと考えている。

#### 北沢委員

5人という制約ではなく必要など所に必要な予算配分をしていただき、人員の確保をしていただければ大変ありがたい。

#### 寺島委員

中学校の先生が小学校10校へ出向きとあるが、専科教員が配置されていない中学校からも小学校へ出向いているのか。小学校全校へ行っているのか。

#### 長田学校教育担当係長

この事業は中学校の数学の先生に小学校に行ってもらうものであり、その先生を派遣した中学校では先生が不在になるため、その学校へ市費で先生を補充する形である。実際には5校の中学校に配置しており授業に行くのはその管内の小学校のみであり、全ての小学校には行っていない。

#### 寺島委員

事業の目的として、学力向上を挙げているが、一部の学校だけ実施しても上田市全体の学力向上にはつながらないのではないかと。学力向上がメインであれば、全部の子どもたちの学力が向上していかれるようにしないと不公平である。継続するのか、あるいは何年かのプランでいくのかビジョンがないと単年度で終わってしまう。全体の学力向上に対しても施策として取り組んでほしい。

#### 山崎委員

③地域に信頼され、地域に開かれた学校づくりについて、学校と地域をつなぐコーディネーターが大切であると書いてある。以前からも言われているがなかなか充実していかない。コーディネーターの養成や発掘、また、活用していくための何か具体的な取組の予定があれば教えていただきたい。

#### 瀬間生涯学習課長

今年度からコーディネーターを養成していきたいと考えている。現在、学校評議員、あるいは、教職員や公民館職員、関係者等20人から25人程度の人が、県生涯学習推進センターで行っているステップアップ講座である5回のコーディネーター養成講座を受講されている。

#### 山崎委員

そのような内容は、記載されないのか。

#### 小林教育長

学校教育課の部分ではなく、後半の生涯学習課の部分に記載している。

#### 城下委員

①学力向上と不登校対策について、学力向上と不登校対策はそれぞれ重要な項目であり、項目別に掲載するなどの見直しを検討するとあるが、これは、28年度からこのようにする

ということか。

長田学校教育担当係長

今回は、26年度の評価シートに対する意見である。27年度は既に始まってしまっているので28年度から別項目とすることを考えている。

城下委員

重点目標の作り方にも関係してくると思うが、不登校対策は1-②の児童生徒一人ひとりに応じた指導体制の充実のなかに入ってくるというイメージか。

長田学校教育担当係長

1の教育支援プランの推進のなかでは、児童生徒一人ひとりに応じた指導体制の充実という項目の中に不登校対策事業が入ってくるので、こちらのなかには一本化させるか、またはもうひとつ枝番を設けて不登校支援ということで事業名を設ける。どちらかという、ひとつ大きな柱として事業として立ち上げたいという考えである。

城下委員

不登校に対しては、先生方にご苦労いただいている。教育委員会としても学校を支援する体制づくりができるよう工夫をお願いしたい。

北沢委員

小中連携教員の配置について、中学校の教員が小学校に行くということは、学力向上がメインの目的であるが、内容的には十分不登校対策になっていると考える。このことは県内の各4地区の実践事例をみてもそうである。具体例を挙げれば、中学校へ行ったら知っている先生がいるという安心感や、小学校の算数の授業にいた生徒が部活で頑張っているといった話を先生がすることなどで、中1ギャップの解消あるいは不登校対策のひとつになっていると思うので、自信を持ってよいかと思う。事業名をどうするかはまた考えてもらえばよい。

## ○ 2 学校施設の耐震化推進と教育環境の整備

### ○ 2-①・②について倉島教育総務課長説明（要旨）

①小中学校施設耐震化事業について総合評価はBである。第二中学校の改築事業、東塩田小学校の屋内運動場改築事業、川西小学校の屋内運動場改築事業など多くの事業に取り組み、一部、繰り越しは出たがほぼ予定どおりできた。今後も計画的に進めてほしいということである。また、改築だけでなく長寿命化工事も組み合わせて経費節減を図ることが必要と考えている。

②小中学校施設整備事業について総合評価はBである。具体的な取組として、清明小学校プール改築事業、小中学校施設営繕事業などがある。営繕事業については、各学校で優先順位をつけてもらい、要望に基づき、必要性など緊急性を勘案して実施していきたい。

### ○ 2-③について山賀学校教育担当係長説明（要旨）

・学校施設整備の充実について総合評価はAである。27年度中に未設置であった19校の保健室にエアコンを設置することができた。児童生徒の教育環境の向上を図るため、学校施設整備の充実を図っていく必要があり、今後も施設や設備の充実に努めていきたい。

○ 質疑

城下委員

エアコン設置は全て完了したということによろしいか。

山賀学校教育担当係長

保健室については全て完了した。

○ 3 新たな文化創造を育む環境づくりと文化遺産の継承

○ 3-①・②・③・④について浅野文化振興課長説明（要旨）

①市民協働による文化事業の推進について総合評価はBである。サントミュージゼの開館により各種事業の参加者が増え、満足度が高まっているので、これが継続するよう取組んでほしいとの意見があった。今後も市民団体との協働による各種事業を実施したい。また、環境整備等の支援もしていきたい。

②子どもたちの芸術鑑賞・体験機会の充実について総合評価はAである。小中学校への芸術家派遣事業、能楽講座、子ども文化祭などを実施し、目標を上回る成果があった。委員から子どもたちを育てるための事業が幅広く実施されていることを評価するとの意見もあり、今後も関係事業の充実を図りたい。

③史跡等整備事業について総合評価はBである。観光客に対応した整備をする場合も、上田城の面影など歴史的側面も味わえるようなものとすることや、一過性とならず長期的な視点で事業を進めてほしいとの意見があった。整備に当たっては今後も史実に基づき計画的に進めていくほか、文化財を活用した事業を推進する。

④博物館における学習機会の提供について総合評価はBである。大河ドラマ「真田丸」の放送を好機と捉え、様々な手段により真田氏や上田城の歴史を市民、観光客に理解してもらう取組を行うことが必要である。充実した企画展を開催し、市民の学習機会をより多く提供するためにも、適正な人員及び事業費の確保について検討していきたい。

○ 4 生涯学習の推進による地域の教育力の醸成

○ 4-①・②・③について瀬間生涯学習課長説明（要旨）

①社会教育施設整備事業について総合評価はBである。引き続き西部公民館、神川地区公民館、上田図書館の計画的な整備を行い、生涯学習環境の充実を図っていく。上田図書館については、基本構想を策定し、その中で検討していきたい。

②地域が学校を支援する事業について総合評価はAである。公民館を核とした地域が学校を支援する仕組みを10校に拡大することができた。コーディネーターの育成を図り、学校教育課と生涯学習課の連携を強化して事業が前進することを期待する意見があった。今後も公民館と学校の情報共有や信頼関係の構築、ボランティアやコーディネーターの育成に努めたい。

③青少年育成関係団体の連携について総合評価はBである。市内9公民館中8公民館において組織化できた。今後は組織が十分機能するよう取組を進めていきたい。

○ 4-④について宮崎人権同和教育政策幹説明（要旨）

④人権同和教育推進事業について総合評価はBである。研修会や講演会は継続的に実施され、内容も充実しているが、参加者が固定化される傾向があるため、より多くの人に参加してもらえる取組が必要との意見があった。より多くの地域住民が自ら進んで参加できるよう、研修会等のテーマや周知方法について検討していく。

○ 5生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

○ 5-①・②について滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

①生涯スポーツ活動の推進について総合評価はBである。委員から、健康づくりチャレンジポイント制度を活用して、普段スポーツをやらない人も参加してもらえるような取組が進むことを期待する等の意見があった。新たな人に参加してもらえるような取組も進めるなかで、スポーツイベントやスポーツ教室の参加者の拡大に努めていく。

②スポーツ施設整備基本構想策定事業について総合評価はCである。上田市全体のスポーツ施設整備計画を策定するため、関係団体等との意見交換や検討会を行ったが、原案の公表には至らなかった。

○ 質疑

城下委員

評価の付け方について、担当者の感覚的な判断によるものになっていると思うがこのやり方でいいのか。

倉島教育総務課長

難しいところである。目標がそれぞれあり、それに対してどんな取組をするかは具体的にある程度は決まっている。目標に対して進めた取組がしっかりできたのかどうかというところで、これは感覚的にならざるを得ないところがある。そこを中心にまず担当者が付け、そのあとに、課長、係長を含めてこの評価、記述でいいのかということ全体でみる。そのあと、教育委員会にお諮りするという形になる。また客観的な目で見てくださいこのような取組であればAでいいのではないかというご意見もいただいたところである。やはり、評価を点数化してAとかBというところまでは難しい。やや感覚的なものはあるが基本的には目標が達成できたかどうかを中心に考えている。

城下委員

経年で見ていったときに、感覚的なものを現実に沿った形で評価できるのか疑問である。平成21年、22年頃は点数評価をしていた。事業の評価を4つの評価項目、必要性があるか、有効性はどうか、目標達成度はどうか、経済性、効率性の4つの評価項目から点数化した上でのA B C Dというランク付けだった。この表の作り方で何年もやってきているが、評価の方法とあわせて、もし書ききれない場合や何か不都合があるようだったら少しずつ表の作り方を変えていくことも必要ではないか。ずっとこのままのやり方でいいというのはいかがなものか。

倉島教育総務課長

評価の方法については、当初はこの事業が必要かどうかなど4項目に分けて評価したが、ここに挙げている事業で必要でないものはない。そういうところから見て、もう少し単純にしたらどうかという見直しをし、目標に対してどうだったのかここを重点的に見るべきではないのかということで、見直しをさせていただき今の形になった。個別でもう少し内容を記載したいという場合には、今回もそのようにさせていただいているが、本来1ページのところを2ページに渡って書いている。ページ数を増やし必要なものはできるだけ書くようにしている。具体的にここをこうしたらというご提案があればこの場でなくてもよいのでまたご意見いただければと思う。

城下委員

他の市町村のものを参考にすることも必要である。工夫できる点がヒントとしてあるかもしれないので意識していただければと思う。

小林教育長

今のご指摘を研究させていただきたいと思う。

○ 全委員 了承

## (2) 上田市文化財保護審議会からの答申について（文化振興課）

○ 資料2により浅野文化振興課長説明（要旨）

平成24年7月18日付で上田市教育委員会が諮問した鉄矛について、上田市文化財保護条例第39条に基づき文化財保護審議会から文化財指定の答申があったので、協議のうえ決定いただきたい。

- ・文化財の名称 鉄矛
- ・文化財の種別 有形文化財（考古資料）
- ・文化財の所在地 上田市国分1125番地 上田市立信濃国分寺資料館
- ・文化財の所有者 上田市

○ 全委員 了承

## 3 〈報告事項〉

### (1) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 資料3により山賀学校教育担当係長説明（要旨）

県外在住5名の方からふるさと寄附金（学校教育活動支援事業）をいただいた。27年度累計金額は484,008円、累計件数は16件である。

○ 全委員 了承

### (2) 文化振興関係寄附の状況（文化振興課）

○ 資料4により浅野文化振興課長説明（要旨）

県外在住9名の方からふるさと寄附金（上田城復元プロジェクト）をいただいた。27年度累計金額は554,219円、累計件数は41件である。

○ 全委員 了承

### (3) 文化芸術関係市長表敬訪問者報告（文化振興課）

○ 資料5により浅野文化振興課長説明（要旨）

6月3日（水）に、滋賀県で行われる第39回全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門に出場する長野県東信地区合同バンドの皆さんが市長表敬訪問された。丸子修学館、上田千曲、上田西高等学校からなる合同バンドであり、大会は7月31日（金）から8月1日（土）まで行われる。記念品は、真田幸村のぬいぐるみを差し上げた。

○ 全委員 了承

#### (4) 「文化財 d e 文化祭」の開催について（文化振興課）

○ 資料6により浅野文化振興課長説明（要旨）

今年度から初めて行う事業である「文化財 d e 文化祭」が、8月7日（金）に旧常田館製糸場施設屋外広場で、10月17日（土）に信州大学繊維学部講堂で開催される。内容は7日（金）が常田館 JAZZ NIGHT、17日（土）がストリングラフィシルクコンサートでどちらも入場無料である。

○ 全委員 了承

#### (5) 平成27年度夏休み上野が丘わいわい塾の実施について（上野が丘公民館）

○ 資料7により樋口上野が丘公民館長説明（要旨）

平成27年7月27日から30日までの4日間、上野が丘わいわい塾が開催される。今年で4回目の開催で、133名の応募者があった。今年度のポイントとして日常の学校生活では味わえない、経験できない内容を多く取り入れた。また、中高生が自発的にボランティアとして参加している。

○ 全委員 了承

#### (6) 第53回信州上田丸子夏期大学の開催について（丸子地域教育事務所）

○ 資料8により石井丸子地域教育事務所長説明（要旨）

第53回信州上田丸子夏期大学が開催される。8月20日（木）午後3時から、8月26日（水）午後3時から、8月30日（日）午後1時30分から、9月3日（木）午後7時から、9月11日（金）午後3時30分からという日程で行われ、会場は丸子文化会館小ホールである。また、受講料は無料とし申込みは不要である。なお、交通手段がない方、障がいがある方については社会福祉協議会の協力をいただき無料送迎がある。

○ 全委員 了承

#### (7) ルパンジャズライブの開催について（丸子地域教育事務所）

○ 資料9により石井丸子地域教育事務所長説明（要旨）

平成27年11月3日（火）に丸子文化会館にて、ルパン音楽の生みの親である大野氏が出演するルパンジャズライブが開催される。チケット発売は8月22日（土）午前10時から開始する。当日の開演時間は午後5時からである。

○ 全委員 了承

#### (8) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課）

○ 全委員 了承

#### 4 〈その他〉



(1) 池田城南公民館長より公民館だより説明

○ 全委員 了承

(2) その他

滝沢スポーツ推進課長

上田西高校が、高校野球県大会でベスト4まで進んでいる。決勝に残り、甲子園出場となった場合は日曜日の夕方5時半頃から上田市役所本庁正面玄関前で報告会を予定している。

○ 全委員 了承

閉会